

なめし皮の使い方



①程よく湿らせる

水で濡らし軽く絞って使います。

雫がたれるのは濡らしすぎ、皮が白っぽくなるのは絞りすぎです。

②口辺に当てる



なめし皮が口辺から浮かないようにぴったりと当て、星印の位置を親指と人差し指で挟む。余分な皮は手の甲に乗せ、邪魔にならないようにする

器口辺の断面図



- ・なめし皮が浮いている
- ・なめし皮の余分な部分がだらりと作品にまとわり付いてしまう



なめし皮は7時の位置に当て、ろくろを1周回して整えます。



乾燥によるひび割れを滑らかにしたり、指あとを消したり、余分な水分を吸い取ったりにも使います。